

善意が繋がり百二十三年

北条仏教会会長

法然寺住職 岡本好司

昨年より北条仏教会の会長役を務めさせて頂いています岡本好司と申します。倉敷紡績跡地の隣にあります法然寺の住職でございます。日頃より北条仏教会の活動にご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

現在、当仏教会は旧北条市地域にある各宗派の寺院十五ヶ寺から構成されています。その活動内容は主に、「寒行福祉托鉢」と「仏教文化講演会」の主催です。

「寒行福祉托鉢」は、毎年一月大寒の頃より十日間旧北条市地域で托鉢を行っております。事前に各地域区長様へお願いして「時間行福祉托鉢浄財志納袋」と書かれた封筒を地区組長様にお配り頂き、組長様から地域の皆様に届けて頂いております。

そして、各地区決まった日の朝に、浄財が入った志納袋を仏教会員の僧侶が各ご家庭へ受け賜わりに参ります。暦は大寒の寒さ厳しい朝方なので、多くのご家庭が、玄関先に封筒を置いて頂いていて、それを願文を称えながら拝受するのですが、わざわざ玄関前で待ち受けて頂いていることもあったり致します。誠に有難いことでございます。

この活動の由来は、飢饉に見舞われた東北地方への援助の為に、明治三十五年二月に托鉢が発起されたことから始まり、今年が百二十三年目に当たります。現在は、托鉢でお預かりした浄財を自然災害に見舞われた全国各地の自治体へ届け、また、地域の皆様の福祉に役立てて頂くこと、旧北条市内各地区社会福祉協議会様へ預託する助成活動なども行っています。

その他、地元の皆様のより良い生き方のヒントになれば、と毎年秋に開催している「仏教文化講演会」の運営にもこの浄財の一部を充てさせて頂いております。

当会のように、宗派を超えた僧侶の集まりが行う托鉢は、全国的に見ても稀な托鉢行と聞いていますが、なによりも百年以上前、皆様の四・五代前のご先祖様がご存命の頃から続いていることが稀有なことでもあります。

これも偏に、地域の皆様の善意と仏教会員の意志が繋がってこそこのことではないでしょうか。風早の町ならではの、この善意の繋がりを次の世代にも遺していきたいと存じます。今後共、当仏教会へご支援賜りますようお願い申し上げます。



法然寺新鐘楼の前



北条小学校4年生体験授業 〈社会福祉協議会・聖カタリナ大学〉

社会福祉協議会と聖カタリナの学生で、北条小学校の四年生（七十四名）対象にランドゴルフ体験学習を北条小学校のグラウンドにて開催しました。ほとんどの生徒がランドゴルフは初めてで、最初は右に左に的を得ませんでしたが、子供はコツをつかむのが早く、慣れてくるとホールインワンを出す生徒もいました。大声援の中でのびのびと楽しそうにプレーする姿が印象的でした。



2024/11/07



2024/11/07

安居島地区住民との交流会

社会福祉協議会（会長・高山孝行）六人は昨年七月二十四日、安居島地区佐伯区長他島民五名の皆さんとの交流会に参加しました。五世帯十一人での生活で、皆さんで協力しあいながらの一生懸命さが、伺えるようでした。短い時間でありましたが、食事をしながら意見交換を行い、島民の高齢化にともない現在住んでいない方たちの畑・道路の除草や、猪への対応等々に困っている等のお話を伺いました。

又の再開を約束し見送りを受けながら出港しました。

猪への対策については、区長会經由松山市へ連絡済です。



地域交流ランドゴルフ大会

令和六年十一月十九日火曜日文化の森グラウンドにおいて地域交流ランドゴルフ大会が行われました。

総勢五十人で日頃の努力が成果になった方又、久しぶりに会った方々との会話が出来る方など、楽しい時間を過ごすことができました。

優勝は、新開二区、準優勝は上辻三区でした。

